

5/24

文化交流で初の協定締結

白河市との文化交流協定



福島県白河市と大田原市は、「文化交流協定」を締結しました。白河市は、本市の北に位置して東北の玄関口として機能し、古代の道東山道や近世の奥州街道などを通じて古くから人の往来やモノの流通があり、歴史的・文化的に関わりの深い地域です。

両市が文化面を中心とした交流を推進することで、交流人口の増加を図りながら、文化振興と地域経済の発展につなげていくため、このたびの協定の締結となりました。

白河市にあるコミネス、本市にある那須野が原ハーモニーホールといった文化施設をはじめとして、今後具体的な取り組みが進められていくことが期待されています。

那須連峰のパノラマ写真

藤田謙三氏写真寄贈

5/31

大田原市役所8階の北側展望ロビーに、藤田謙三氏(黒羽山の会)より市役所からの山並みを眺望した「北西山岳展望図」の寄贈を受けました。

藤田氏は、市庁舎の屋上から撮影した写真を手作業で切り貼りを行い、大田原の市街地から那須連峰、奥左飛の山々、高原の連山、日光の山々をパノラマとして、山の名前のほか、標高や三角点なども記載してまとめました。展望ロビーに訪れた際には、市役所北西に広がる山々と位置などを確認して頂ければうれしいとお話されました。



6/3

新たに地域おこし協力隊員を任命しました

地域おこし協力隊



6月1日に新たな地域おこし協力隊員として、浅倉梢氏を任用しました。浅倉隊員には「竹工芸の知識・技術習得と情報発信」を行っていただきます。

現在の隊員数は7名で、引き続き、大田原市内で様々な「地域おこし活動」に取り組みます。

大田原市地域おこし協力隊の活動は協力隊フェイスブックに掲載しておりますので、ぜひフォローをお願いします。



「データ引継ぎ」取り組み評価

大田原税務署長から感謝状

6/6

市では平成30年分確定申告期から、市の申告会場において申告書作成システムを利用して作成した所得税の確定申告書を、国税庁のe-Taxにより送信しています。

これにより、今後「データ引継ぎ」を実施しようとしている他の市町村のモデルケースになったことや、事務の効率化が図られたことが評価され、大田原税務署長から感謝状が贈られました。

